

昨年 2008(平成 20)年度一般入試前期日程における出題および採点ミスについて

2009 年 3 月 26 日

このたび、昨年 2008 年 1 月 31 日に実施された 2008(平成 20)年度本学人間学部一般入試前期日程の「日本史」の問題において、出題および採点ミスがあったことが判明いたしました。そのため合否の確認を再度行いましたが、合否結果には影響がなく、不利益を受けた受験生はありませんでした。

今回のミスにより受験者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びし、ここにお知らせします。

また、本学が配布しました「2009 入試ガイド(入試問題集)」の当該問題に対する解答例(p 72)の訂正をお願いします。

内容については次のとおりです。

○ 試験科目

2008 年 1 月 31 日(木)実施の選択科目「日本史 B」

○ 出題ミスの内容

大問 2 問 7 選択肢④を正解としていたが、①も正解であることが判明した。よって、この問いに対する正解は①あるいは④となる。

問 7 徳川幕府の職制に関する説明として誤っているものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 老中以下の各役職は親藩・譜代大名や旗本から選任された。
- ② 老中以下の各役職は原則的に複数の定員で月番交代で政務を担当した。
- ③ 美濃郡代・飛騨郡代や代官は勘定奉行の配下におかれた。
- ④ 朝廷や西国大名の監察には大目付があたった。

○ 採点ミスの内容

大問 3 問 4 選択肢④を正解としていたが、①が正解で④は不正解であることが判明した。よって、この問いに対する正解を①とする。

問 4 下線部 d の半済令に関する説明として正しいものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 将軍が守護に荘園や公領の年貢の半分を徴発する権利を認めたのが半済令である。

- ② 半済令が最初に発布されたのは畿内の5か国であった。
- ③ 半済令は南北朝が統一されると撤回された。
- ④ 足利尊氏が半済令を出した1352年は観応の擾乱の最中であった。

○ 出題および採点ミスに係る対応

出題ミスに係る対応については、当該科目を選択した方は、該当する設問を正解の扱いとしました。採点ミスに係る対応については、該当する設問について採点をやり直しました。

今後、入学試験の社会的責任をより一層自覚し、今後このようなことが起こらないように入試業務全体のチェック体制を強化し、再発防止に努める所存であります。

仁愛大学学長 藺田 坦